

森林工芸館では、昨年度から研修制度の一部見直しを行い、オケクラフト作り手養成塾を再開いたしました。今年度は、2名の研修生を予定しておりますが、研修内容の充実を図るため、より効率的、効果的な指導体制を目指してまいります。

図書館は、昨年度に策定した図書館運営3ヶ年計画に基づき、「本のあるみんなの広場」としての機能をより高めてまいります。

1月
から
交付
が
始
ま
っ
た
個
人
番
号
カ
ー
ド



心ふれあう協働のまちづくり

1月から導入されたマイナンバー制度は、社会保障、税、災害対策の分野において運用が開始されました。平成29年7月からは、マイナンバ

ーの庁外連携も可能となりますが、市民の利便性向上のためセキュリティを強化し、安心して利用できる環境づくりに努めてまいります。

平成28年度 教育行政方針 (要旨)

平成28年置戸町議会第2回定例会において、平野毅教育長が示した教育委員会の所管事項に関する主要な方針についてお知らせします。



学 校 教 育

小 中一貫教育を見据え、学習指導要領の「生きる力」を育むという理念の実現に向けて取り組みます。

教育委員会事務局に学習支援員1名を配置し、小4ビハインド、中1ギャップなどに対応するため、各学校へ派遣いたします。

小学校では、3年生からの社会科副読本「おけと」改訂版の編集及び発行を行います。

中学校では、教科書改訂に伴う教師用指導書の整備をはじめ、義務教育教材、電子黒板用デジタル教科書の整備を行います。

特別支援教育につきましては、小学校4名、中学校1名の支援員を配置し、引き続ききめ細かな支援に努めます。

国際化への対応ですが、引き続き外国語指導助

手を配置し、小・中学校へ派遣し外国の言語や文化に触れるとともに、基礎的・実践的なコミュニケーション能力の育成を図ります。

置戸高等学校への支援につきましては、バス通学費の補助率改定を行うほか、福祉教科準教科書や寮費の支援、希望者への学校給食の提供など各種支援を継続し、教育環境の充実を図ります。また、給付型奨学金「福祉の夢」サポート奨学金制度開始により、就学に向けた支援を行います。

社 会 教 育

昨年度実施しました開町100周年記念事業、町民構成劇「おけと100年物語～生命(いのち)のつながり」は、多くの町民参加のもと大きな感動を生みました。この構成劇で生まれた絆を次の100年に向けた地域づくり、まちづくりにつながるような学び、考え、創るための1年とします。

地域づくりの拠点となる公民館活動では、地域が主体となって地域課題の解決に取り組む体制づくりと、社会教育関係団体のリーダー育成を主眼